



わかば新聞

2025年
6月号
NO.118



6月4日(水)2025年度全体職場会議(前期)を開催しました。今回の内容は、
(1)2024年度まとめと決算、2025年度方針と予算の報告(田畑施設長)
(2)学習会「医療・介護の連携～和歌山生協病院がめざすもの」(和歌山生協病事務長・松下和史さん)
(3)各ユニット・デイから今年度の目標発表、です。

全体職場会議開きました

(1)では、田畑施設長より、2024年わかばが10周年の節目を迎えた一方、特養での空床・入院の日数増、デイの利用者減のなか、人件費・諸物価高騰をカバーする事業収益が確保できず、大きな赤字を出したことが報告されました。

2025年度方針では、①戦後80年を迎え、わかばが理念とする日本国憲法にもとづく事業運営と入居者・利用者の「豊かなくらし」実現、②コロナ前の利用水準回復による経営改善を何としても実現する、の2つの柱を提起がされました。

(2)では、松下事務長より和歌山中央医療生協と和歌山生協病院の歴史の上に、医師臨床研修制度・新専門医制度と和歌山生協病院、新型コロナウイルス、大学との連携、地域との連携、救急医療などの課題での病院の対応、和歌山生協病院のポジショニングや病床機能についての話がされました。

また、日本の医療・病院が置かれている困難な状況について、6月1日放送のNHKスペシャル「医療限界社会」の内容を紹介され、診療報酬を抑制し、ケアとケア労働が軽視される政治を変えていく必要性を訴えられました。

(3)では、「利用者様の尊厳を守り、利用者の立場に立ったケアをする」「環境整備に力を入れる」「穏やかな日常生活、残存能力を活かせるケア」「利用者に安心してもらえる居場所に」「ADLの維持・向上」「疾患を理解し、その人らしい生活の支援」「報・連・相(報告・連絡・相談)を大事に」など出され、各部署から感動的な報告がされました。

この日は最後に、勤続10年を迎えた職員に送られてきた全日本民主医療機関連合会(わかばも加盟)からの感謝状と記念品の贈呈式も行いました。職員Aさんは「仕事を10年務めたのは初めてで感無量」と喜んでいました。



特別養護老人ホーム

わかば

〒640-8390 和歌山市有本140

TEL (073) 475-0015 FAX (073) 475-0016

HPアドレス <http://www.nijiwakaba.com/> ※「にじわかば」で検索